

平成 28 年度地域包括支援センター事業実績報告

【地域包括支援センターの概要】

- | | |
|---------|--|
| 1. 設置日 | 平成 18 年 4 月 1 日（平成 23 年度より町直営から社会福祉協議会へ委託） |
| 2. 設置場所 | 二宮町社会福祉協議会 平成 28 年 10 月 1 日から二宮町役場庁舎内に移転 |
| 3. 配置職員 | 社会福祉士（1 名）・主任介護支援専門員（1 名）・看護師（1 名）・
介護支援専門員（3 名）・事務員（1 名） 平成 29 年 3 月 31 日現在 |
| 4. 担当業務 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護予防事業（介護予防の普及啓発など） 2. 総合相談支援業務（住民からの相談への対応など） 3. 介護予防ケアマネジメント業務（介護予防給付管理・ケアマネジメント） 4. 権利擁護業務（成年後見制度の活用促進、虐待防止の取り組みなど） 5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（地域ケア会議、地域ネットワークの構築、ケアマネジャーに対する後方支援） 6. 任意事業（キャラバンメイト、家族介護教室など） |

1. 介護予防事業

（1）高齢者を対象とした介護予防の普及啓発

介護予防事業は、高齢者が要介護・要支援状態となることへの予防を目的として実施するものです。介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な活動の育成・支援を行っている。

1. 普及活動

社協社会福祉大会・百合が丘福祉まつりにおいて、介護・認知症・ロコモティブシンドローム予防、栄養改善・口腔ケア啓発を実施。

富士見が丘地区社協の健康教室へ講師として参加（認知症予防について、町健康長寿班と共催）

2. 総合相談支援業務

（1）総合相談の受付状況

地域の高齢者に対して、面接や訪問、電話による相談を実施し、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関や制度の利用につなげる等の支援を行っている。

新規相談（新規の相談者をカウントしています）

	電話	来所	訪問	その他	合計
男性	163	61	3	6	233
女性	239	75	0	12	326
不明	2	0	0	0	2
「小計」	404	136	3	18	561

上半期 249 件 下半期 312 件

前年度 478 件

相談者と本人の関係

	H28	H27
本人	64	61
夫	21	14
妻	47	30
息子	37	43
娘	90	70
子の妻	24	27
子の夫	2	1
その他の親族	17	22

	H28	H27
ケアマネジャー	72	48
近隣者	9	4
民生委員	32	26
行政職	52	75
医療関係者	53	35
その他	41	22
総数	561	478

3. 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 要支援者の介護予防ケアプラン作成（給付管理とケアマネジメント）

要支援1・2、事業対象に認定された方の介護予防ケアプラン作成を地域包括支援センターにおいて実施している。状態の改善・悪化による介護度の変更のための居宅介護支援事業所との担当引継ぎ等、給付件数に現れない業務がある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28計	H27計
要支援1	70	69	73	75	71	76	77	76	75	74	70	71	877	1035
要支援2	98	108	104	111	112	120	127	125	121	123	120	127	1396	1632
委託	82	77	75	67	65	57	55	51	52	47	43	48	719	535
計	250	254	252	253	248	253	259	252	248	244	233	246	2992	3202

【介護予防支援委託事業所名】… 介護予防居宅支援においては、一部業務委託が可能となっている。

(町内…社協ホームヘルプステーション、恒道園相談センターもとまち、

オリーブケアマネステーション、特定非営利活動法人ワーカーズ大空、)

(町外…中井富士白苑居宅介護支援センター、特定非営利法人ぽっかぽか

訪問看護ステーション中井、つるかめ居宅介護支援サービス

特定非営利法人ワーカーズコレクティブウィズ、小田原市鴨宮ケアセンター

NPO 法人ワーカーズ実結居宅介護支援事業所、りんどう大磯居宅介護支援事業所

湘南ホームフレンド平塚居宅介護支援事業所、あおぼと介護相談

SMC 居宅介護支援事業所さなだ)

4. 権利擁護業務

(1) 権利擁護相談

介護保険事業者などと連携し、単身や認知症の高齢者で支援を要する方を早期に発見し、相談につなげられるように体制を整備している。社会福祉士が主に権利擁護事業関連の研修に参加し、業務遂行に必要な知識や情報の習得に努めている。

権利擁護の相談件数	4名	(前年度 4名)
-----------	----	----------

(2) 成年後見制度の対応

成年後見制度について、相談対応をしています。また、身寄りがいないなどの理由で申し立てが困難な方に対しては、町につなぎ、町長申し立ての依頼をしている。

成年後見制度の町長申し立て関連件数	1件	(前年度 4件)
-------------------	----	----------

(3) 高齢者虐待対応

相談窓口に寄せられた高齢者虐待に関する相談内容については、各関係機関と連携をとりながらその対応に取り組んでいる。

高齢者虐待関係の相談・対応人数	5名	(前年度 5名)
-----------------	----	----------

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 地域ネットワークの構築

地域包括支援センターでは関係機関等と連携を図り、地域ケアのシステムづくりを行なっている。また、大磯町と合同で、介護サービス提供事業者、ケアマネジャーなどからなる連絡会「湘南ウエスト」を年に数回開催し、それぞれの立場からなる情報交換を行なっている。

連絡会「湘南ウエスト」開催回数	9回	開催	(前年度 9回、内訳も同数)
(全体会3回、ケアマネ部会2回、ヘルプ部会2回、通所部会2回)			
役員会は毎月開催(大磯町・二宮町地域包括支援センターで事務局担当)			

(2) 地域ケア会議と介護事業所への支援

支援困難事例に係るサービス担当者会議の開催の支援や事例検討を行なっています。また、ケースによっては、3職種で現場への同行訪問なども実施している。

地域ケア会議開催回数	12回	開催	(前年度 12回)
------------	-----	----	-----------

※中郡医師会二宮班から医師が5回参加

その他、民生児童委員や消防署職員、警察、薬剤師、理学療法士にも出席いただき、ネットワークの構築

ケアマネジャースキルアップ事業	…	2回開催	(前年度 1回)
(主任ケアマネジャーフォローアップとしてファシリテーション研修)			
湘南ウエストケアマネ部会研修会と連動させて実施			

(3) その他（普及啓発・多職種連携・研修など等）

民児協定例会出席、ピースハウス病院高齢者ケア部会出席、平塚市自立支援協議会との連携
金融機関や商店への啓発活動、地区社協との連携
中郡在宅連携委員会、多職種連携会議、継続看護委員会、難病委員会、平塚保健福祉事務所との連携
3市2町地域包括支援センター合同情報交換会開催（大磯町と企画）、地域密着型サービス運営推
進会議、県域地域包括連携会議（2回）、二宮町リハビリ職との情報交換会
中郡在宅医療研修会、生活支援体制整備事業（協議体研究会への参加）
地域包括支援センター現任者研修、地域包括支援センター新任職員研修、集団指導講習会（居宅介護
支援・訪問看護）、平保認知症研修、地域自殺対策研修会、相談援助勉強会（りつこスクール）
平保精神保健福祉地域支援研修、平保難病研修会、平保在宅医療連携会議（委員として参加）
難病対策地域協議会、地域包括ケアシステム構築についての研修会（さわやか福祉財団等）
生活支援コーディネーター研修、介護予防従事者研修、西湘ブロック主任CM連絡会、
二宮町介護保険改正説明会（総合事業・予防マネジメント）、サロン・ミニデイ訪問、
包括支援センター勉強会（毎月第1水曜） 定例会（毎月第3木曜）、介護支援専門員従事者フォロー
アップ研修

6. 任意事業

(1) 認知症サポーターキャラバン・メイト

認知症を理解し、認知症の方とその家族を温かく見守るため、認知症に対する正しい知識と具体的な
対応方法を住民に伝える講師役“キャラバン・メイト”の育成やサポーターの養成を行っている。

認知症サポーター養成講座 4回実施 58名（社協助け合いネットワーク関係者
社協ボランティア大学参加者、横浜銀行二宮支店行員、サニーライフ二宮職員
（前年度 7回実施 101名） 二宮町認知症サポーター数 2060名

(2) 介護教室の開催

家族介護支援事業の一環として、介護者のつどいや家族介護教室を開催し、情報交換・介護相談
介護方法の習得を通じ、介護者の負担の軽減を図ることを図っている。

講座を1回開催 参加者32名 「成年後見制度の理解」
（前年度 1回実施）

7. その他

(1) 町給付適正化事業への協力（ケアプランチェック）

法令を遵守し適正に提供できるようケアプラン点検の協力をしている。

5回開催（町内全居宅介護支援事業所）

(2) 町高齢者サービス実態調査

町健康づくり課からの依頼で、紙おむつの支給。配食サービス・ほっと安心ヘルパー・移送サービスに関して、訪問などで面談し、実態把握を行っている。

紙オムツ	8名(6名)	配食サービス	2名(2名)	
移送サービス	2名(2名)	ほっと安心ヘルパー	4名(1名)	
			合計	16名(11名)

※()内は前年度実績

(3) 社会福祉士主事及び社会福祉士養成のため、相談援助実習の受入をしている。

大学生	1名(24日間)	専門学校生	1名(10日間)
(前年度)	大学生2名	専門学校生	1名(10日間)

(4) 介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営協議会・地域包括支援センター運営協議会
オブザーバーとして参加をしている。

同日に3協議会開催。	1回参加	(前年度)	1回参加
------------	------	-------	------